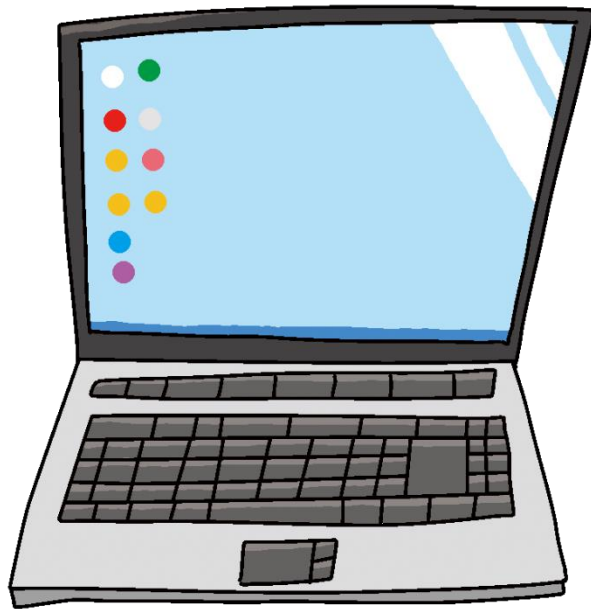


日本語指導が必要な中学生のための

初期支援コース

「みらい」

オンライン授業 Q&A



子どもたちの明るい未来のために

令和4年4月

豊橋市教育委員会 学校教育課

Q 1 なぜオンライン授業を始めるのですか？

A 1 豊橋市では増加する日本語指導が必要な外国人生徒への支援として、2018年度に「みらい東」、2019年度に「みらい西」を開設し、指導体制を整えてきました。

「みらい西」は、羽田中、牟呂中、南陽中、豊城中、高師台中、吉田方中、北部中、南部中、中部中、二川中、章南中、南稜中、本郷中、前芝中、五並中、高豊中、石巻中の17校の生徒を対象としています。豊橋駅に近いという交通の利便性から、2019年度に開設し、「みらい東」と合わせて希望する全ての生徒が通級するようになりました。

しかし市内では外国人住民の散在化が進み、今後登下校の課題から、通級を諦めざるを得ない生徒が出てくることも考えられます。そのため、今年度はパイロットプロジェクトとして、「みらい西」をベースにして、Teamsを使ったオンライン授業を計画しました。（豊橋市教育委員会では、令和3年度文部科学省の「帰国・外国人児童生徒等教育の推進事業〔帰国・外国人児童生徒等に対するきめ細かな支援事業〕」を受託しており、その実施項目に「ICTを活用した教育・支援」も含まれています。）

また、このプロジェクトは、「1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、特別な支援を必要とする子供を含め、多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育環境を実現する」というGIGAスクール構想にも合致するものです。

Q 2 オンライン授業の教育課程上の位置付けは、どうなりますか。

A 2 豊橋市では、学校の授業時間内に行なわれる日本語の取り出しは、全て「個別の指導計画」を作成し、「特別の教育課程」を編成して行なわれています。今回のプロジェクトで行なう指導も、「特別の教育課程」としての日本語指導と考えています。この根拠となる考えは、文部科学省の「遠隔教育の推進に向けた施策方針」に示されています。詳しくは、「遠隔教育システム活用ガイドブック 令和2年度 遠隔教育システムの効果的な活用に関する実証 第3版」を参照してください。

Q 3 オンライン授業で行なう日本語指導は何ですか。

A 3 今回のプロジェクトで行なう日本語指導のプログラムは、「日本語と教科の統合学習」のうち「JSLカリキュラム英語科」です。文部科学省の「JSLカリキュラム英語科」(JSL: Japanese as a second language、第二言語としての日本語)では、母語の干渉により「生徒が所属する通常の学級で日本語を母語とする生徒と一緒に授業を受けるだけでは習得できない言語事項」が6項目示されています〔①時制 ②不定詞 ③比較構文 ④受け身 ⑤関係代名詞 ⑥分詞〕。「JSLカリキュラム英語科」は、この6つの言語事項について、日本語を母語としない生徒に特別な授業(「取り出し」)を行うことで、通常の英語の授業についていけるようにすることをねらいとされています。こうした授業を行なうには、英語教育の専門知識が必要です。また国際教室担当者が少なく、英語指導の必要性を感じていても、なかなか指導時間が確保できないという中学校も少なくありません。

英語の授業はアクティビティが豊富で、「導入→ルール of の定着→運用」という授業の流れが、オンライン授業との親和性が高いとも言われています。

こうした点を鑑み、今回は「JSLカリキュラム英語科」をパイロットプロジェクトの教科として選びました。

Q 4 申し込みから実際の授業がスタートするまでを教えてください。

A 4 今年度は、1クール目(4月18日～7月8日)、2クール目(9月～10月)、3クール目(11月～12月)、4クール目(1月～2月)の4回に分けて実施する予定です。この全てに参加しなければならないということではありません。

①申し込み：在籍する学校の**教務主任**から、教育委員会学校教育課(担当：柴田)に申し込み書類を交換便で送付します。【別紙1：申込書類】

②募集期間：それぞれのクールの1週間前まで申し込みができます。

③時間割例：時間割は、希望する生徒の時間割に合わせて変更することがあります。そのため、クール毎に変更することがあります。

		月	火	水	木	金
1限目	8:45～9:30	3年①		1年①		1年②
2限目	9:45～10:30	1年①		3年②		2年②
3限目	10:45～11:30	2年①		2年②		3年②
4限目	11:45～12:30					
5限目	13:45～14:30		2年①		1年②	
6限目	14:45～15:30		3年①			

1週間で2回を1ユニットと考えます。

(例えば、1年①、1年②の2回で1ユニットです。1年①は、月曜日の2時間

目と、水曜日の1時間目にありますので、在籍校の時間割を考慮して、いずれかを選択します。同様に1年②も選択します。)

④全体の流れ

	「みらい西」	在籍校担当者	生徒
事前	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート作成 →メッセージで在籍校へ Teams ルーム設置 生徒 ID 登録 会議室ログインテスト 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートを生徒に 配付 生徒ログインテスト 	[持ち物] <ul style="list-style-type: none"> 生徒用タブレット 英語教科書 筆記用具 ノート など
当日朝	<ul style="list-style-type: none"> 電話で確認 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒欠席の場合、 8:30までに羽田中 (担当:山本)まで、電 話で連絡してください。 	
授業中	T1 モデレーター	T: 生徒支援	学習
事後	<ul style="list-style-type: none"> e ライブラリ課題指示 と提出確認 		<ul style="list-style-type: none"> e ライブラリ課題 の取組み、提出
	<ul style="list-style-type: none"> 改善点の共有 	<ul style="list-style-type: none"> 改善点の共有 	

Q 5 在籍校でオンライン授業を受ける時、教員が立ち会う必要がありますか。

A 5 生徒が一人で受けることはできません。「特別の教育課程」による日本語指導は正式な教育課程ですので、在籍校の教員が実施する授業の一環としてオンライン授業を取り入れて行うものと捉え、主たる指導は在籍校の教員になります。

Q 6 「みらい」修了生ではありませんが、申し込みができますか。

A 6 できます。

Q 7 2年生ですが、英語も英語の授業に必要な日本語もよくわかっていません。1年生の内容の授業を受けたいと思いますが、可能ですか。

A 7 可能です。日本語指導では、生徒の力に応じた指導が行なわれています。このプロジェクトでも同様に考え、下学年の内容の授業を受けることができます。

Q 8 どのレベルの授業を受けたいのか判断ができません。どうしたらいいですか。

A 8 「みらい西」に相談して下さい。スタッフが指導前に学校に伺い、一番適した授業のアドバイスをすることが可能です。

Q 9 「みらい」を修了したばかりのフィリピン生徒です。英語は堪能ですが、日本語に不安があります。オンライン授業を受けた方がいいのでしょうか。

A 9 「みらい」では、初期の日本語指導を行なっています。期間が短いため「JSLカリキュラム英語科」の指摘する〔①時制 ②不定詞 ③比較構文 ④受け身 ⑤関係代名詞 ⑥分詞〕の項目の内、①②③に対応する日本語は学習済みですが、④⑤⑥の指導までは至っていません。英語が得意な生徒であれば、英語から日本語を学ぶことも可能なので、オンライン授業を受けることの成果が期待できます。

Q10 欠席連絡はどうしますか。

A10 当日の朝8時30分までに、メッセージか電話で「みらい西（羽田中学校）」担当者（山本博史）にご連絡下さい。

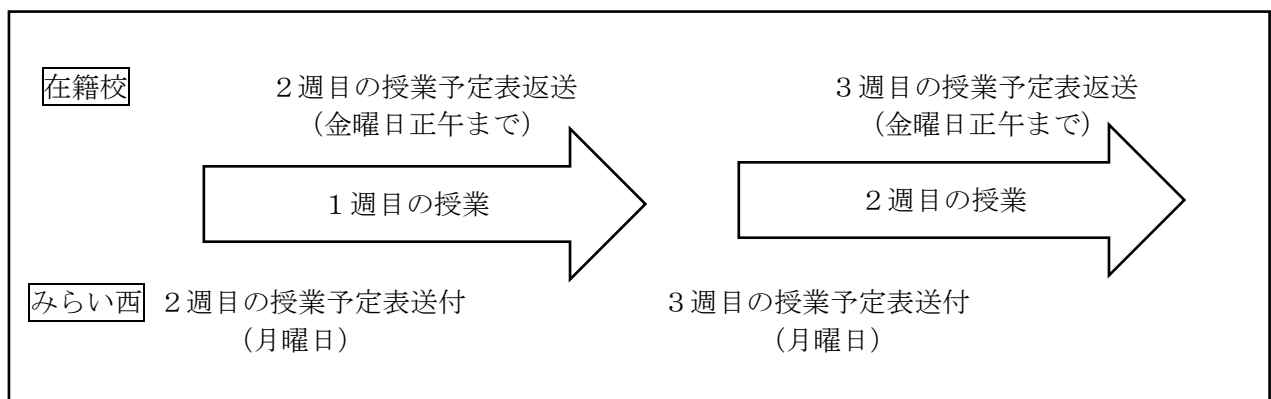
Q11 学校の日課がオンライン授業の日課（時間）と合いません。途中入室、途中退室は可能ですか。

A11 今年度オンライン授業は、「みらい西」開設校である羽田中学校の日課で行ないません。そのため、生徒の在籍校と日課が合わないことがあります。生徒の在籍校でのスケジュールを優先し、途中入室、途中退出も可能です。

Q12 学校行事等で時間割の変更がある場合、オンライン授業に参加することができません。授業時間の調整は可能でしょうか？

A12 毎週月曜日に翌週のオンライン授業予定表をFAXで在籍校へ送ります。在籍校は翌週の学校行事等を確認し、オンライン授業予定表の希望コース、曜日、時間に○を付けて、毎週金曜日の正午までに羽田中学校（みらい西）へFAXで返送します。

【別紙2：オンライン授業予定表】



オンライン授業予定表に記載されていない曜日、時間での希望等がある場合は、オンライン授業予定表のコメント欄に記入してください。「みらい西」スタッフが調整をおこないます。

オンライン授業の評価

Q13 「個別の指導計画」への記入はどのようにしますか。

A13 オンライン授業の時間数を「個別の指導計画」の時間数に記入してください。
評価については、オンライン授業担当者と相談の上、在籍校の教員が行ないます。

Q14 在籍校から報告書などを提出する必要がありますか。

A14 パイロットプロジェクトであるので、授業後、生徒の様子を共有し、改善点などの提案もお願いしたいと考えています。1期修了毎に報告書の提出をお願いします。**【別紙3：報告書】**

その他

Q15 オンライン授業を見学したいのですが、可能でしょうか。

A15 可能です。IDを学校教育課（担当：柴田）にお伝え下さい。出張をしなくても、オンラインで見学ができます。

別紙1 初期支援コースオンライン授業申し込み<第〇クール>【例】

学校名	
生徒名	
学年・組・担任名	
在籍校担当者	
Teams 生徒 ID	

●希望するコース、曜日、時間に○を付けて下さい。

		月	火	水	木	金
1 限目	8:45～ 9:30	3年① [P] [T]		1年① [T]		1年② [T]
2 限目	9:45～10:30	1年① [P] [T]		3年② [T]		2年②
3 限目	10:45～11:30	2年①		2年②		3年②
4 限目	11:45～12:30					
5 限目	13:45～14:30		2年①		1年②	
6 限目	14:45～15:30		3年①			

・1週間で2回を1ユニットと考えます。

(例えば、1年①、1年②の2回で1ユニットです。1年①は、月曜日の2時間目と水曜日の1時間目にありますので、在籍校の時間割を考慮して、いずれかを選択します。同様に1年②も選択します。)

・表中の[P] [T]と記載されている時間は、みらい西のBL相談員による母語支援があります。(Pポルトガル語支援、Tタガログ語支援)

別紙2 オンライン授業予定表【例】

【〇〇中】〇〇〇〇先生 ⇔ 【羽田中(みらい西)】

オンライン授業予定表 月 日 ~ 月 日

		月	火	水	木	金
1 限目	8:45~ 9:30	3年① P T		1年① T		1年② T
2 限目	9:45~ 10:30	1年① P T		3年② T		2年②
3 限目	10:45~ 11:30	2年①		2年②		3年②
4 限目	11:45~ 12:30					
5 限目	13:45~ 14:30		2年①		1年②	
6 限目	14:45~ 15:30		3年①			

※Pポルトガル語通訳、Tタガログ語通訳

■ 授業内容 ■

	①	②
1年		
2年		
3年		

コメント：

●希望するコース、曜日、時間に○を記入し、

月 日金曜日の正午までにお知らせください。

別紙3 初期支援コースオンライン授業 報告書【例】

中学校（在籍校）名		在籍校担当者	
生徒名		指導期間	第○クール

■授業日

	月日	出欠	在籍校補助者名
1	月 日 曜日	() 出席 () 欠席	
2	月 日 曜日	() 出席 () 欠席	
3	月 日 曜日	() 出席 () 欠席	
4	月 日 曜日	() 出席 () 欠席	
5	月 日 曜日	() 出席 () 欠席	
6	月 日 曜日	() 出席 () 欠席	
7	月 日 曜日	() 出席 () 欠席	
8	月 日 曜日	() 出席 () 欠席	

■アンケート

①申し込み方法はどうか。

() わかりやすい () わかりにくい

②オンラインにつなげるまでは、どうか。

() 速やかにできた

() 難しかった

→どんなところが難しかったですか。

③学校での時間割との関係はどうでしたか。

() 週案が出て、調整ができたので問題がなかった。

() 難しかった

→どんなところが難しかったですか。

④生徒の様子はどうでしたか。

自由記述

ご協力、ありがとうございました。